

《 昨年度のご報告 》



企業 **32社** (延べ834名)
 博士人材 **75名** (延べ951名)
 博士前期* **20名** ※オブザーバー
が参加しました!

第10回 企業と博士人材の交流会

- 日 時 : 2020年8月~9月
- 開催形式 : オンライン

博士人材の採用に関心のある企業と、企業への就職も選択肢の一つとして考えている博士人材が相互理解を深め、就職等につながる機会として、「企業と博士人材の交流会」をオンラインで開催しました。交流会はPRセッション (PRサイトに企業、博士人材がそれぞれをPRする資料を掲載し、相互に閲覧) と、Web交流セッション (Zoomを使ったオンラインプレゼン) の2部制で行いました。

博士

企業

PR
セッション



PRサイトへの資料の掲載と閲覧

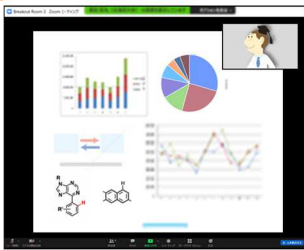
博士75名がPR動画で
研究と人材アピール

- ・大学の研究について知る
- ・博士を知る、優秀な人材を発掘する
- ・共同研究シーズ発掘も可能

企業32社が自社PR資料を掲載
参加博士たちが閲覧

- ・自社をアピール
- ・博士への期待を伝える
- ・インターンシップや求人情報の公開も可能

Web
交流セッション

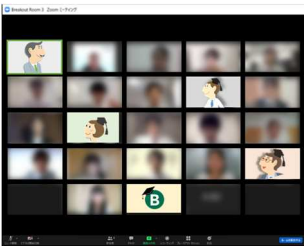


Web交流の場【博士人材編】: 博士人材から企業の方へのプレゼンテーション

9月1日~4日

博士75名が順に、研究の価値や概要と自身の強み等をアピール

- ・研究内容や人材について企業から質問
- ・プレゼンに対し企業からアドバイス



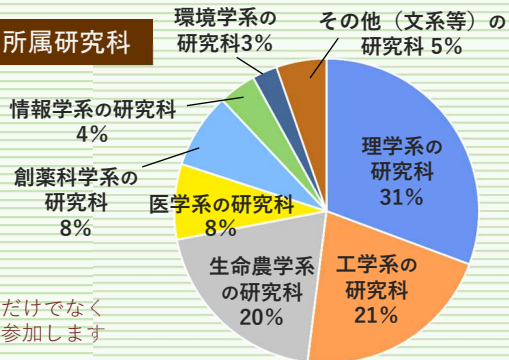
Web交流の場【企業編】: 企業の方から博士人材へのプレゼンテーション

9月8日~11日

企業32社が順に、自社をアピール

- ・博士への期待、博士の活躍状況を伝える
- ・インターンシップや求人情報を公開も可能
- ・博士たちから質問。博士の新たな企業発掘

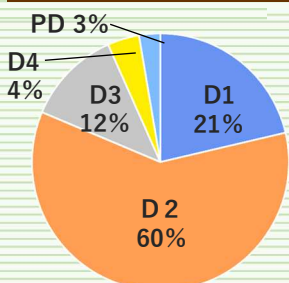
参加博士の所属研究科



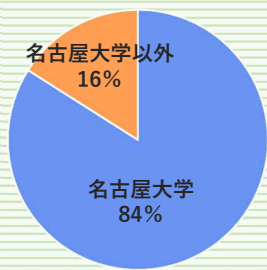
見学、インターンシップ、採用、
共同研究、企業広報など

※日本人だけでなく
留学生も参加します

参加博士の身分



参加博士の所属大学



(株)アイヴィス、旭化成(株)、アステラス製薬(株)、(株)アルビオン、エーザイ(株)、(学)開智学園、キヤノンメディカルシステムズ(株)、京セラ(株)、(株)クレハ、ユニカミノルタ(株)、三菱工業(株)、サンプラスチェックス(株)、JSR(株)、(株)島津製作所、昭和電工(株)、信越化学工業(株)、住友化学(株)、第一三共(株)、大日本住友製薬(株)、田辺三菱製薬(株)、(株)知能情報システム、DIC(株)、テクノデータサイエンス・エンジニアリング(株)、テルモ(株)、(地独)東京都立産業技術研究センター、(株)とめ研究所、日本新薬(株)、(株)日本入試センター、(株)ネオレックス、プリストル・マイヤーズスクイブ(株)、(株)豆蔵、(株)モリタホールディングス

※昨年度(2020年)ご参加いただいた企業

参加した博士人材の声

今まで関心がなかった企業(専門性が生かせないと思っていた企業)でも、幅広い専門分野を持った学生を必要としていることを知り驚いたとともに、就活する上で業種や業界を狭める必要がないことを学びました。

化学・工学系のイメージが強かった企業においても、生物系実験スキルを用いた研究開発が行われていると知り、進路選択における視野が広がりました。

動画やHPで見るよりも、実際どういう職場で働いているかイメージが付きやすく、企業によっては雰囲気も伝わってきた。

私は認知科学・心理学を専攻しているので、ほとんど接点がないと考えていたメーカーの企業が「感性工学を利用して製品やサービスの満足度向上を目指している」と仰っているのを聞き、そこから接点を作ることができました。

毎年この時期は野外調査期間で名古屋にいないため、ウェブ開催は大変ありがたかったです。

研究室の先輩と同じような企業に就職するんだろなあ、となんとなく考えている方こそ、参加をお勧めします。ここには様々な企業が様々な求めたい人材を考えて参加されています。私も交流会参加前は、先輩方が行ったような企業を多く見ていましたが、本当にここがいいのだろうか?と思うこともありました。しかし、交流会をきっかけに、先輩が行った実績のない業界で「ここがいい!」と思える企業を見つけ、内定を頂くことができました。自分の心の声に正直に、様々な企業を知ることをお勧めします。



ご参加いただいた企業の方の声

自分で考え何をやりたいかを明確に表現できる学生様が多い印象を受けました。いい人材はもちろん、幅広い領域に強みを持つ学生もおり、バランスがよかったです。

今回は、事前に参加される学生様の確認ができたため、ピンポイントで確認することが出来ました。

自身の専攻だけでなく様々なことに興味を持っており、専門性とその専門性を別分野に応用するという、弊社が博士人材に求める能力、志を持っている学生さんが多かったと感じました。

当社の専門分野は異なるものの、非常に優秀で活発な人材に会えました。

オンラインという形態にもかかわらず、様々な工夫を凝らしたプレゼンや、積極的な質問の姿勢など、非常に優秀な博士人材の皆様にお会いすることができました。

期待していた通り熱意をもって研究に取り組んでいる学生が多かったように感じました。

毎回参加させていただいていますが、教育レベルの高さ、研究プロセス、発表の明確さは期待通りです。

本イベントのWEB化、大変困難を極めたと思いますが、スムーズな運営を実施いただきありがとうございました。

様々な可能性を秘めている人材に出会えました!

